

MIZUHO

瀬木学園だより

学校法人 瀬木学園

愛知みずほ大学・大学院

愛知みずほ大学短期大学部

愛知みずほ大学瑞穂高等学校



Vol.21

「新生 MIZUHO」	1・2
「とっておき MIZUHO」	3
「きらり☆MIZUHO」	4
「INFO MIZUHO」	5
「EVENT MIZUHO」	5
「瑞想録」	5



今号では、短期大学部で平成30年度の設置を目指して認可申請中の現代幼児教育学科について特集を組みました。教育のさらなる充実のために踏み出した学園の新たな一歩を、最新の話題と合わせてご紹介します。

キーワードは“現代” 「現代幼児教育学科」新設へ

愛知みずほ大学短期大学部では、保育者（幼稚園教諭・保育士）養成をいっそう充実させるために、現在の「生活学科 子ども生活専攻」を「現代幼児教育学科」に改組し、平成30年度4月開設を目指して設置認可申請しました。今回の「新生 MIZUHO」では、この新学科の特色をご紹介します。

現代的諸課題に柔軟かつ積極的に対応できる保育者の養成を目指して

本学科は、平成30年度に日本では最新の保育士・幼稚園教諭養成課程を設置する専門学科として誕生する予定です。学科名に「現代」を冠することで、本学科が、日本の幼児教育界が当面している現代的諸課題に柔軟に、かつ積極的に対応できる保育士・幼稚園教諭の養成を目指します。

- 想定される現代的諸課題
- 1 保育需要の多様化（延長・休日・未満児保育など）への対応
 - 2 障がい児対応保育の充実
 - 3 地域の子育て支援の推進
 - 4 新しい教育要領が要請している「幼児の賢さ」育てへの対応
 - 5 「幼稚園」・「保育園」・「小学校」の連携教育
 - 6 ESD*対応保育の発展



*Education for Sustainable Development
（「持続可能な開発のための教育」）の略

学ぶ楽しさを、学ぶ意欲へ

入学後の学生生活で重視する教育的課題の一つは、学生の学ぶ意欲を育てることです。その出発点は、学ぶことの楽しさを味わってもらうことにあります。この点に関して、教職員間でよく話し合っており、学科全体で当該課題に対応していきます。学ぶ楽しさを味わえば、学ぶ意欲も育ち、学ぶ意欲が育てば、行動の意欲も育つと考えているからです。

「学び」を支える頼もしいスタッフ

幼児教育を学ぶことを通して、学生が学ぶことの喜びや学ぶ意欲を育てていくには、教員のサポートがとても大切です。そのサポートを、質の高い教員スタッフがを行います。シニアの教員は、愛知県はもとより日本の幼児教育においてリーダー的存在の教員です。また、若い教員も半数はドクター（博士号）を持っています。

青年にふさわしい心・体・常識の育成を重視

新学科が目指す基礎段階での教育目標は「あの青年はいい青年だね」「あの学生さんは本当にいい学生さんだね」という言葉に相当する、人間的内容を形成・陶冶するということです。この「内容」とは「礼儀正しさ」「優しさ」「社会的常識を持っている」「気が利く」などの資質です。この課題を主として担当する学科目として、専任教員全員で担当する「基礎ゼミ」（2年間）を開講します。そこでは、文章表現指導から始まって、青年にふさわしい態度や社会的能力を身につけてもらえるよう配慮した教育課程が用意されています。

採用試験に向けて

本学科の専門課程における教育目標の一つは、幼稚園教諭や保育士として働くための採用試験に合格してもらうことです。そのために、学生には、アカデミックスキルを確実に身につけてもらうとともに、様々な学習機会を提供することで、採用試験で相当の成果を上げられる力を養ってもらいます。

「現代幼児教育学科」



Q 目指す教育は？



まずは、幼児教育および保育に関しての基礎的な理論と技術を身につけること。次に、子どもを大切に、子どもと共に育っていくことを自分の喜びとする保育者の養成。さらに、それらに加えて、実践的な問題解決力(意思と行動力)を身につけた保育者を養成することです。

Q 資格取得は？



保育士資格、幼稚園教諭免許は選択制です。保育士資格、幼稚園教諭免許のいずれか、または、両資格とも取得するなどの選択ができます。

Q 期待する学生像とは？



幼稚園や保育所で働きたいと考えている人。学ぶことの楽しさを知りたいと思っている人。学びを通して友だちを創りたいと願っている人たちです。

丹羽 孝 特任教授

からのメッセージ

新学科の理念は、現代的諸課題を受け止めて発信出来るようにすることです。また、幼児教育という分野ではありますが、学生がここに来て勉強することで、学ぶ楽しさや友達と一緒に生活する楽しさを実感してもらいたいと思います。幼児教育に当たる者が、人間としての生きる喜びと誇りを持っていないと、大切な子どもたちを預かって育てられません。新学科で学ぶみなさんには、学ぶことは自分にとって意味があり、楽しいことなんだという「学ぶ楽しさ」をベースに、自らの生きる喜びにつながる学修を支援していきたいと思っています。



学ぶ楽しさをベースに生きる喜びにつながる学びを





とっておき
MIZUHO

夢の実現にまずは行動 ボンド大学語学研修

今回の「とっておき」では、2月下旬から3週間、ボンド大学(オーストラリア:愛知みずほ大学提携校)での語学研修^{きっかわ ひろあき}に参加した保健体育コース3年生、の吉川洋明さんへのインタビューをご紹介します。*オーストラリア短期語学研修(ボンド大学付属語学学校短期語学研修 2017.2.19~3.12)

M 参加した動機は?

海外の文化に興味があったこと、教員志望なので、授業の指導方法にも興味があったからです。正直、英語に関しては、3週間では上達しないと思っていたので、主に授業内容とか雰囲気を感じに行きました。

M どんな人たちが参加していましたか?

韓国や中国、ブラジルなど色々な国の学生がいました。留学してきた人たちのためのクラスみたいなどころだったので。



きっかわ ひろあき
吉川洋明さん
保健体育コース3年生



現地での様子



M 他の留学生たちとの交流はできましたか?

言葉が通じない時も多かったですが、お互い、伝えようという気持ちが強かったので、ジェスチャーとか、知っている単語を積極的に使うことで理解し合えることができました。

M 不安はありませんでしたか?

不安だけでしたが、やってダメだったら、そんな日もあるという気持ちで臨みました。せっかくの4年間、(積極的に)やらなければもったいないですから。

M 今回の研修に参加して気持ちの変化とかはありましたか?

今は体育の教員を目指しているのですが、もう1つ、海外の子どもたちに体育を教えたいという気持ちも湧いてきました。

M 後輩たちには勧めたいですか?

勧めたいです。でも、参加するなら、きちんとした目的をもって臨んでもらいたいです。



インタビューを終えて

吉川さんは、今回の研修に出かける直前まで10日間の日程でバリ島の孤児院でのボランティアに参加していました。オーストラリアに出発したのは、バリ島から帰国したわずか4日後だったそうです。吉川さんの言葉にもありましたが「せっかくの4年間」という短い時間を自己啓発のために最大限有効に使おうという姿勢が強く感じられました。ぜひ夢を実現してもらいたいです。



きらり☆
MIZUHO

全国高等学校選抜卓球大会 女子学校対抗

第5位

優勝した四天王寺高校に一步及ばず頂点を逃しましたが、3月26日(日)から28日(火)まで大阪中央体育館で開催された第44回全国高等学校選抜卓球大会で愛知みずほ大学瑞穂高等学校が女子学校対抗で第5位に入賞しました。今大会優勝校の四天王寺高校とは全国大会で何度も対戦していますが、未だその壁を乗り越えることができません。試合終了後、秋山^{きらり}キャプテン(3年生)は、「もっともっと練習して、このメンバーで必ず夏のインターハイで優勝します。」と力強く宣言してくれました。日頃の努力は必ず実を結ぶ。自分たちの力を信じて練習に励み、次こそ宿敵の壁を突破し、念願の全国制覇を達成してしてもらいたいです。



試合結果

予選
リーグ

瑞穂	進徳女子 (広島)	瑞穂	福井商業 (福井)
3	0	3	0

決勝
トーナメント

瑞穂	遊学館 (石川)	瑞穂	四天王寺 (大阪)
3	0	0	3

Newspaper



INFO MIZUHO

学園に新たな息吹 平成29年度新入生

本年度は、665名の皆さんが本学園の学びの扉を開きました。
新しい学びの場に胸躍らす皆さんを学園のスタッフ全力でサポートいたします。
各校の入学者数をご紹介します。

愛知みずほ大学 156名(編入学1名)

- 養護・保健コース／53名(編入学1名)
- 保健体育コース／44名
- 心理・カウンセリングコース／42名
- 人間科学コース／17名
- 大学院／11名



入学式 (ウインクあいち 4月1日)



新入生歓迎ボウリング大会 (名古屋グランドボウル)

愛知みずほ大学短期大学部 112名

- 生活文化専攻／31名
養護教諭コース／17名
オフィス総合コース／14名
- 子ども生活専攻／37名
- 食物栄養専攻／44名



入学式 (名古屋国際会議場 4月1日)



新入生交流会

愛知みずほ大学瑞穂高等学校 386名

- 普通科／295名
進学Aコース／16名
進学Bコース／183名
生活インフォメーションコース／96名
- 商業科／91名



入学式 (日本特殊陶業市民会館 4月6日)



部活動オリエンテーション



EVENT MIZUHO

OPEN CAMPUS 2017

オープンキャンパスの日程(夏期)は以下のとおりです。詳しくは各校ホームページでご確認ください。

大 学

6月17日(土) 7月23日(日) 8月11日(金・祝)
8月20日(日) 9月23日(土・祝)

短期大学部

6月10日(土) 7月22日(土)
8月5日(土) 8月26日(土) 9月9日(土)



● 瑞 想 録 ●

設置を目指す新学科「現代幼児教育学科」について語ってくださった丹羽先生の言葉で最も印象に残った言葉は「喜び」でした。紙面の都合でご紹介できませんでしたが、「よい保育士・幼稚園教員」とはという質問に先生は「人間として育つ喜びを持ち、子どもが育っていくことに関心があり、子どもが成長していくことに喜びを感じる事が保育者の基本的資質として大切。」だと答えられました。「人間として育つ喜び」の大切さは保育者に限ったものではないでしょう。今号の編集を通して、自らを高めていく大切さを改めて確認しました。 転寝